

町制施行50周年記念事業

2025

クリスマスコンサート

Este es el Tango !

これがタンゴだ！



タンゴ五重奏に歌手とダンサーが共演!!
本場アルゼンチンタンゴの世界を
ぜひ会場でご堪能ください。



タンゴクルサード 米阪隆広 ギター 星野俊路 バンドネオン 松本尚子 バイオリン 後藤雅史 コントラバス
麓 朝光 ピアノ ロベルト杉浦 歌手 ダニエル&ユウキ ダンサー

12月13日(土) 14:00 開演 (13:20 開場)

大治町立公民館 講堂・体育室 ※観覧にはチケットが必要です！

チケット1枚：1,000円 (鑑賞料：500円、パーティー代：500円)

全席指定 300枚限定。飲物(コーヒー・紅茶・ジュースから選べます)、洋菓子、軽食付き

チケットは、11月1日(土) 9:00より、公民館2階事務室にて販売します。



町制施行50周年を記念して コンサートの休憩時間に
パーティータイムがあります!!
コンサートの余韻に浸りながら ほっとひといき いい気分♪
和気あいあいと 楽しい時間をお過ごしください
終了後には お楽しみ抽選会もあります 素敵な賞品が当たるかも♪
主催 大治町 / 大治町教育委員会 / 大治町文化協会





米阪 隆広 TAKAHIRO YONESAKA : ギター (タンゴクルサード)

14歳の時から独学でギターを始め、大学在学中から猪居信之氏に師事する。福田進一、藤井真吾両氏のマスタークラスを受講。26歳から本格的なプロ活動を開始。現在は、大阪池田市でギター教室を主宰するとともに、クラシックギターの奏法をベースにタンゴ、ラテンの奏法も積極的に取り入れ、ジャンルにとらわれず活動の幅を広げている。星野俊路とのデュオ、タンゴ・グレリオとしてCD3枚をリリース。アレンジにも力を入れており、編曲作品は自らのYouTubeチャンネルで公開するほか、月刊誌「現代ギター」にも掲載された。日本ギタリスト会議事務局副議長、ギター音楽大賞審査員をつとめる。

Website : <https://yoneguitar.com>



星野 俊路 SYUNJI HOSHINO : バンドネオン (タンゴクルサード)

19歳の時、オルケスタティピカ東京の岡本昭氏、岡崎恵二氏にタンゴの基礎を学び、東京都内のダンスホールなどで演奏経験を積む。24歳の時に京都の門奈紀生氏に入門し、2006年からオルケスタ・アストロリコ、アストロリコ六重奏団のメンバーとして活躍する。アルゼンチンに渡航し、プエノスアイレスでロドルフォ・メデーロス、フリオ・パネ、ロベルト・アルバレスのレッスンを受講。現在は関西では数少ないプロバンドネオン奏者として、ピアニスト吉岡凜をリーダーとした「タンゴ・コケータ」、上田裕司氏の「タンゴ・ガルーファ」など様々な楽団で演奏活動を行い、ダンスや歌の伴奏などの経験も積んでいる。BSフジ『世界の音楽ハロー！クラシック』に出演。STAND UP! ORCHESTRA とともに演奏した。



松本 尚子 NAKO MATSUMOTO : バイオリン (タンゴクルサード)

大阪府立夕陽丘高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。第7回長江杯、第9回万里の長城杯両国際音楽コンクール共に第1位をはじめ、大阪国際音楽コンクール、日本演奏家コンクール他多数のコンクールに入選受賞。大学在学中にデビューリサイタルを開催。2017年、塩入俊哉氏の下、ソロバイオリニストとしての活動を本格開始、同時に作編曲も始める。2018年作曲家、山下憲治氏と共に山口島根コンサートツアーを成功させる。高い技術力と表現力、心に切り込む音色と評されたバイオリンが老若男女、業界問わずファンを増やしている。2019年春、YouTubeチャンネル「名曲チャンネル」を開設。夏、1st Album「赤と白」発売。大丸心斎橋劇場にて発売記念コンサートを成功させている。



後藤 雅史 MASASHI GOTO : コントラバス (タンゴクルサード)

15歳よりコントラバスを始める。大阪音楽大学卒業。コントラバスを故三宅康司氏に師事。文屋充徳氏の公開レッスンを受講。京都国際学生音楽フェスティバル 2007、2009年アメリカ・シンシナティ音楽院で開催された第14回世界吹奏楽大会(WASBE)等に出場。2013～14年に2度アルゼンチンへ渡り、タンゴベースをオラシオ・カパルコス氏、パトリシオ・コテラウ氏の両マエストロに師事。2015年にはピアソラの黄金期を支えたピアニスト、パブロ・シーグレル氏によるアカデミーにてヌエボ・タンゴを学ぶ。現在、アンサンブル「UNITET」、KANSAI Tango Club 及び KANSAI Tango Orquesta 各主宰。タンゴアンサンブル「アストロリコ」、Nuevo Tango Saxteto、Tango Cruzado、各メンバー。



麓 朝光 TOMOMITSU FUMOTO : ピアノ

6歳からピアノを、15歳から作曲を始める。今までに作曲を西澤健一、ピアノをルイス・フェルナンド・ペレス、タンゴピアノを青木菜穂子、大長志野、ニコラス・レデスマの各氏に師事。第1回広島作曲コンクール奨励賞、2015年パブロ・カザルス音楽祭(フランス)マスタークラス参加、同音楽祭に出演。2016年イタリア、スペインで演奏ツアー。現在は宝塚歌劇団、OSK日本歌劇団などのミュージカルや演劇の音楽制作に関わる。また、タンゴピアニストとしてさまざまなイベントに出演。オーガナイザー・演出家としても活動している。



ダニエル&ユウキ : ダンサー ダニエル・ブジョン DANIEL BOUJON

アルゼンチン出身。幼少よりタンゴを始める。17歳からプロとして活動。ルイス・ブラボー指揮ブロードウェイタンゴミュージカル「Forever Tango」の専属ダンサーとして2年間米国を始め世界ツアーに出演するなど、数々のタンゴショーで活躍。アルゼンチンタンゴ世界選手権 サロン部門 第4位(2016)、ステージ部門 第5位(2017)

美崎 結希 YUKI MISAKI

幼少期より、クラシックバレエ、日本舞踊、声楽、ジャズダンスを学ぶ。タンゴ歴は20年以上で約7年間、本場アルゼンチンブエノスアイレスを拠点に活動。現地の老舗タンゲリア Sabura a Tango の専属ダンサーを務める他、数々のイベント、舞台ショーに出演。アルゼンチンタンゴ世界選手権 サロン・ステージ両部門 ファイナリスト(2009・2013・2014)



ロベルト杉浦 ROBERTO SUGIURA : 歌手

名古屋市出身。大谷大学哲学科在学中に、19歳でタンゴ歌手としてプロデビュー。卒業と同時に単身タンゴの本場アルゼンチンに渡り、現地のミュージシャンらとコンサート、ラジオなどで共演するうちに、歌唱力が評判となり、タンゴ歌手の大御所ロベルト・ルフィーノに認められ、彼の「ロベルト」の名を正式に与えられる。その後、活動拠点をコロンビアに移し、中南米各地で数々のフェスティバルやコンサートで熱唱し喝采を受ける。ブエルトリコでは、ダニー・リベラに実力を認められ、トレスギター奏者ネルソン・ゴンザレスらと共にコンサートツアーに参加し、「ボレロとタンゴを歌う変な日本人」と驚異の念を持って評される。2000年、

南米で1億人が観ている人気テレビ番組「サバト・ヒガンテ」にレギュラー出演し、「南米で最も知られた日本人」として知名度が広がる。2010年、約20年の中南米での音楽活動を経て帰国すると、ビクターより「ダメウンベソ(作詞:阿木耀子)」をリリースし、日本でメジャーデビューを果たす。2024年、アルゼンチンでマガルディ国際プラチナ賞を受賞。現在は、日本に活動拠点を置き、ラテン音楽の魅力を広めるべくして活動を行っている。

